

スイッチ入って全国最年少記録を樹立！。ことし9月の全国珠算教育連盟主催の段位暗算検定試験で、最高位の十段に合格した知立西小1年の大辻悠仁君。そろばんを習い始めて2年、しかも十段初挑戦という快挙の樹立で、母麻美さんは「普段はわんぱくな普通の1年生ですが、そろばんとなるとスイッチが入るようです」と優しく見守ります。

負けず嫌いで最年少記録

知立西小1 快挙！初挑戦で暗算十段合格 大辻悠仁君

試験は、2桁から8桁までの掛け算、割り算、見取り算の3種目各40題を各3分で解き、200点満点で190点が合格ライン。合格率は0・3%（全珠連調べ）という難関です。

大辻君は、弘栄のそろばんマイスタースクールに通い、3月に準

四段を取得すると、大会でも4年生以下の部で優勝するなど、めきめきと力を付けてきました。夏休み中は毎日5、6時間の練習に打ち込み、十段が狙えるまでに上達。7歳0カ月の記録を1カ月更新した6歳11カ月の樹立に「すごくうれしい」とはにかみません。

大辻君は「次は珠算十段を目指し、大会でも優勝したい」と意気込みます。

同スクールからは春日井市の6年生、榊原和香さんも2度目で十段に合格。榊原さんは「そろばんは最高点が出ると楽しいのでこれからも頑張ります」と笑顔。

指導者の遠山智士さんは「小学生で合格するのは難しい検定。2人の合格は教室みんなで競い合いながら頑張った結果で、みんなの刺激にもなります」と話します。

サッカー教室にも通う大辻君を、麻美さんは「負けず嫌いなところもあり、家でも自主的に練習しています」と見つめます。



十段合格の（前列左から）榊原さん、大辻君、大会で活躍した（後列左から）東原君、岡本君、南部君

全日本通信県大会 6競技で見事優勝

そろばん
マイスタースクール
全日本通信珠算競技県大会が10月10日、岡崎市であり、そろばんマイスタースクールに通う知立西小の児童らが団体、個人の6競技で優勝に輝きました。

学校対抗の団体総合4年生以下の部では、知立西小の岡本昂大君（4年）、東原史伯君（同）、大辻悠仁君（1年）のチームが優勝。東原君は「県では優勝できると思っていたので、今度は全国で優勝したい」と張り切ります。

個人総合では大辻君、読み上げ暗算では同小の南部圭佑君（4年）、読み上げ算では岡本君がそれぞれ優勝。岡本君は「読み上げ算では初めての優勝。今度は全国で1位になれるよう頑張ります」。南部君は「調子はあまりよくなかったけれど1番になってうれしい」と喜びを話しました。
5・6年生の部では榊原和香さん（小学6年）―春日井市―が個人総合と読み上げ暗算で優勝しました。